

## たくさんの声援のなか「炬火リレー」を開催

ぎふ清流国体



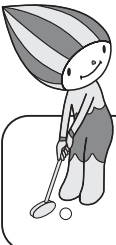
沿道でたくさんの声援を受けながら走るリレー走者

9月9日、町全域で「炬火リレー」が開催され、総勢70人のリレー走者が炬火を引き継ぎました。

リレーコースの沿道や各中継地では、町民の皆さんが小旗を振りながら、リレー走者に大きな声援が送られました。また、500人余の皆さんが駆けつけた役場前では、歓迎式典が行われ、笠松清流太鼓の演奏や炬火トーチをデザインした岐阜工業高等学校の生徒による炬火の引き継ぎなど、盛大に炬火到着を歓迎しました。

最終到着地の笠松競馬場では、ポニーなどに

よる「炬火リレー」が行われ、園児たちの大きな声援を受けながら、次の岐南町へ無事に炬火が引き継がれました。



《笠松町》10月8日(月・祝) デモンストレーションとしてのスポーツ行事  
「グラウンド・ゴルフ」を開催(笠松みなと公園)

## FC岐阜勝利

9月2日、長良川競技場でFC岐阜と東京ヴェルディが対戦、FC岐阜を応援する「笠松町ホームタウンDAY」を実施しました。

入場者に、銘菓「しこらん」や「オグリキャップマグカップ」などをプレゼント。

試合開始前のピッチでは、笠松清流太鼓の披露や、スポーツ少年団のミニサッカーを行いました。

また、松枝サッカースポーツ少年団の岩田貴斗さんと森巧明さんが、「センターサークル応援団」として「選手にがんばって、勝ってほしい」と大きな声で熱いメッセージを届け、子どもたちは町の国体旗「ギフとフラッグ」などを持って、選手の入場を先導しました。

屋台村では、笠松競馬場の「ミニチュアホースの乗馬体験」やホースシューズ(蹄鉄)の形をした「ホースバーガー」を販売。

ハーフタイムには、町内の17企業から提供された「お楽しみセット」と交換する50個のボールが場内に投げ込まれると、あちらこちらで歓声が上がりました。

子どもたちと4,849人の観客の願いが通じ、FC岐阜は1-0で勝利し、勝ち点3を獲得しました。

## 笠松町ホームタウンDAY



ピッチ内で、笠松町の「ギフとフラッグ」を持って歩く子どもたち



センターサークル応援団として選手にメッセージを届けるスポーツ少年団員